

# 熊谷市玉井古銭

1980

熊谷市教育委員会

熊谷市社会教育課

## 序文

熊谷市は古くから荒川の思恵を受けてきた町です。荒川は熊谷市内で流れを何回も変え、多くの土・砂利を堆積させて富の原因をつくりだしてきたものです。昭和52年荒川の古流路・玉井から多量の古銭が出土し、我々を大いに驚かせたものです。幸にして砂利採取工事に携わっていた埼玉産業開発株式会社の方々のご配慮で出土古銭が保管され、その後、市教育委員会に寄贈されました。

出土古銭の整理分類作業がこのほど終り、報告書刊行の運びとなりました。当地方ではこれほど多量に出土した例はなく、また、報告書として発表された例もあまりないことから、今後当地域の中世の経済史や、さらには北埼玉における中世史の解明に寄与できるものと思われます。

本書が郷土の歴史を知るうえで参考に資するものとなれば幸いです。

昭和 55 年 3 月

熊谷市教育委員会

教育長 森田 芳一

## 目 次

序文	熊谷市教育委員会 教育長 森田 芳 一
例言	
目次	
挿図、表目次	
図版目次	
1. 発見の経緯	2
2. 歴史的環境	2
3. 処理法および整理経過	3
4. 古銭分類	4
5. 網	7
6. 畜銭容器	10
7. まとめ	11

## 挿 図 目 次

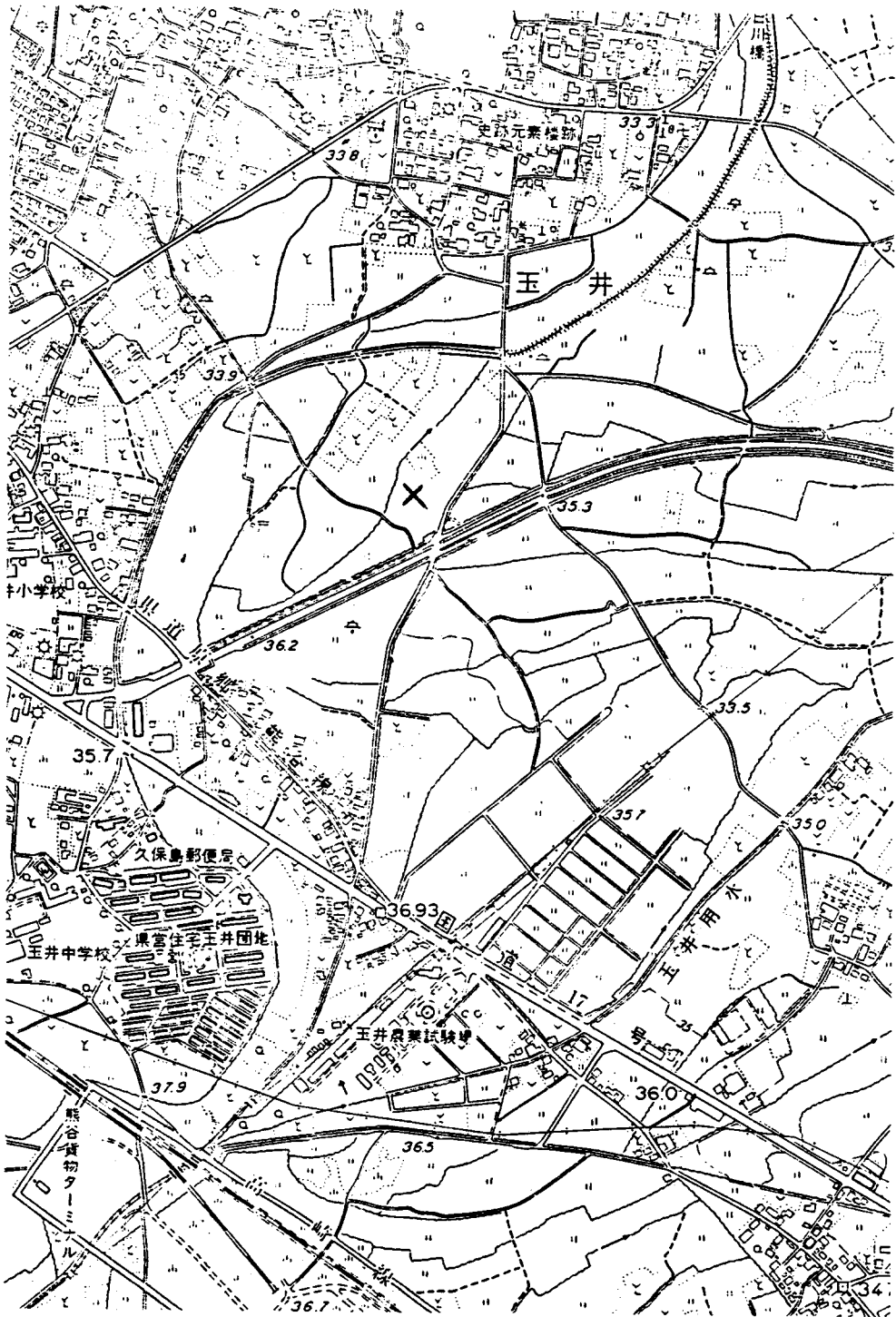
1. 古銭発見位置図	1
2. 玉井氏系図	2
3. 畜銭容器実測図	10
4. 行田市例および本例位置図	11

## 表 目 次

第1表、玉井古銭一覧表	5
第2表、網構成一覧表	7
第3表、行田市下中条出土古銭及び玉井出土古銭	11~12
第4表、写真図版説明表	13

## 図 版 目 次

1. 出土地点および畜銭容器
2. 古銭番号 1-1 ~ 1-10
3. 古銭番号 1-11 ~ 9-1
4. 古銭番号 9-2 ~ 12-5
5. 古銭番号 12-6 ~ 16-4
6. 古銭番号 17-1 ~ 18-6
7. 古銭番号 18-7 ~ 20-10
8. 古銭番号 21-1 ~ 24-2
9. 古銭番号 24-3 ~ 25-11
10. 古銭番号 26-1 ~ 27-14
11. 古銭番号 27-15 ~ 30-2
12. 古銭番号 30-3 ~ 31-6
13. 古銭番号 31-7 ~ 32-10
14. 古銭番号 33-1 ~ 35-4
15. 古銭番号 35-5 ~ 39-2
16. 古銭番号 39-3 ~ 40-3
17. 古銭番号 40-4 ~ 41-8
18. 古銭番号 42-1 ~ 44-2
19. 古銭番号 44-3 ~ 46-1
20. 古銭番号 46-2 ~ 49-1
21. 古銭番号 49-2 ~ 50-4
22. 古銭番号 51-1 ~ 54-2
23. 古銭番号 54-3 ~ 59-7
24. 古銭番号 59-8 ~ 62-2
25. 繒および繒紐



1. 古銭発見位置図

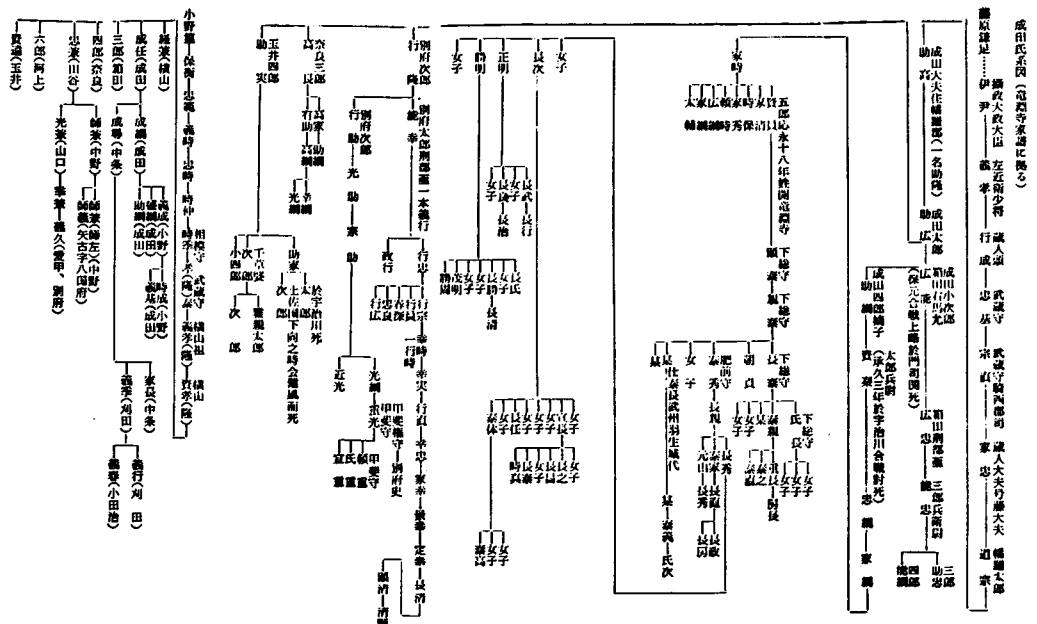
# 1. 発見の経緯

古銭が出土した熊谷市玉井は、飽和状態となった国道17号線とバイパスの分岐点にあたり、最近、道路の要衝として、また新興住宅地として発展をとげている。玉井地区は本来「溜井」といわれ、付近の「窪」「窪島」などの地名と同様、もと荒川の流域であり、低地であった。表土を20cm前後取り除くと、下は礫層である。そのため、砂利採集には好適地である。

昭和52年7月9日、玉井土地改良組合所有地、熊谷市大字玉井字水押上1255において、埼玉産業開発株式会社が採石作業中、地下約1mの地点から大甕に入った古銭を発見した。作業がユンボで行なわれたこと、周囲が全て砂利であったことから、作業員は当初、大甕—古銭の存在に気がつかず、上半を欠如してしまっていた。この為散逸した古銭も相当量になるものと思われる。発見された大甕の脇に秩父青石があり、甕の傾斜と考え合わせると蓋として利用されていたと考えられる。

# 2. 歴史的環境

玉井は、平安末期幡羅郡の玉井荘に属する。「新編武蔵風土記稿」によると、…「玉井村は村内に古井ありて、是を玉井と号するときは、夫より起し地名なるにや、玉井郡玉井庄忍領に属す、保元の頃己に比在名を名乗し人あれば、古き唱なること知べし、…後略」とある。古井については、「…前略…土人傳へに助實が屋敷の井なりと見えたり」とある。このように、文献によれば玉井の地名は、この地に居住した玉井氏によるものである。



2. 成田氏系図

玉井氏の始祖については2説あるが、平安時代の中頃から熊谷の上之（かみの）堀の内を中心に居住した成田氏から分岐し、玉井姓を名乗ったものである。

一説は小野篁説で、後裔は横山党で、成田成任の弟資遠が玉井野七と称え、玉井姓を名乗り、玉井の地に居住したのに始まる。その子玉井四郎資重は、保元の乱、一の谷の合戦に功を樹て、さらにその子玉井太郎は承久の乱で戦死した。と、するものである。

他の一説は、藤原伊尹説で、成田大夫助高（助隆）の子助実が玉井四郎と称し、玉井氏の始祖となっている。助実（助重）は保元の乱に、その子助家は白河上皇六波羅行幸に、その子太郎は宇治川に参加し、功を樹てている。またこの地に居住したことがわかる、最後の人は玉井十郎で、天正十八年迄である。

小野篁、藤原伊尹どちらの説をとったとしても、武蔵七党の一横山党であり、鎌倉幕府の成立に一因をなしたことにはちがいないし、鎌倉時代に活躍していたことも確かである。

1349年関東管領となった足利基氏は、1352年新田氏との戦いに功績のあった美作家泰に熊谷の批塚（肥塚）を与え、尊氏も熊谷別府郷に別府幸家を、熊谷久下郷・池守郷に久下頼武をそれぞれ地頭職を命じている。

1409年関東管領となった足利持氏は、東国に勢力を安定させようと反抗分子を攻めたが1411年関東執事となった上杉禅秀は、1416年玉井、別府、瓶尻（三カ尻）氏らを伴い管領持氏の館をおそっている。いわゆる上杉禅秀の乱である。その後、1424年持氏は、別府幸忠に久下に隠れている上杉禅秀軍の残党、玉井駿河入道父子（玉井小四郎の子孫）の討代を命じている。（久下合戦）その後しばらく玉井氏についての記録はないが、応仁の乱、国一揆等の状勢、あるいは、この間の仮碑の多さ等を考えあわせると世状の不安は容易に察せられる。玉井にも明応3年種子不詳の板碑があり、おそらくこの辺りに銭貨埋蔵の事情があるのではなかろうか。

### 3. 処理法および整理経過

出土古銭は多くが緇に通された状態で甕に埋蔵されていた。しかし、緇紐は腐食し、古銭自体も金属質の溶出、あるいは、酸化がはげしく、10～30枚程度のブロック状になっていた。ブロックは、緇の全体を知れるものはない。古銭の付着は強固であり、剝離が困難であったが、木槌等を使用してこれを行った。しかしながら、剝離しても直に銭文の判読し得たものは少なく、錆の度合の少ないものは水洗、多いものは、10%硝酸液、もしくはアンモニア水で洗浄、清掃した。また、ものによってはサンドペーパーで錆落とししたものもある。錆落としの完了したのから充分乾燥させ、シリカゲルと共に、密閉封付きのビニール袋に保管した。おおよその銭文が判読可能となったのは、処理作業を開始してから1年後であった。その後、銭文を判読し、これを分類した。

#### 4. 古銭分類



出土総数16,184枚のうち、判読不明な140枚を除いた16,044枚は、全て渡来銭であり、62種類銭種名に区分される。さらにこれらは、大きさ、書体、背文、縁、穿等によって細分することができるが、ここでは、銭種名を中心として、書体の別によって区分する大区分の段階までで止めた。なお、書体の異なるものは26種類に及ぶ。

これらをまとめてみると、唐—2銭種1157枚—7.14%、五代—5銭種—15枚—0.09%、北宋—31銭種—11,492枚—71.01%、南宋—17銭種—277枚—1.72%、元—1銭種—4枚—0.02%、明—4銭種—3,021枚—18.67%、安南—1銭種—1枚—0.01%、金—2銭種—16枚—0.09%、朝鮮—1銭種—61枚—0.38%となり、北宋銭が圧倒的に多い。また、最古のものは、唐の開元通宝—初鑄年621で、最新のものは明の宣徳通宝—初鑄年1433である。

同一銭名で1000枚以上のものは、開元通宝（唐、南唐銭を含む）—1112枚、皇宋通宝—1615枚・熙寧元宝—1298枚・元豊通宝—1491枚・元祐通宝—1242枚（北宋）、永樂通宝—2082枚（南宋）がある。

書体は真書体が主であるが、篆書体を伴うものが16銭種ある。内訳は、北宋が、天聖元宝、明道元宝、景祐元宝、皇宋通宝、至和元宝、至和通宝、嘉祐元宝、嘉祐通宝、治平元宝、治平通宝、熙寧元宝、政和通宝、宣和通宝等13種類、唐・開元通宝、五代・唐国通宝、南宋・建炎通宝が各々1銭種ずつである。その他、淳化元宝、至道元宝は行書体、草書体を伴う。草書体が含まれるものはこの2銭種に限られている。真書体を含まないものは、行書体と篆書体の組み合わせで、元豊通宝、元祐通宝、紹聖元宝、元符通宝、聖宋元宝の5銭種あり、いずれも北宋である。このうち元豊通宝には隸書体を含む。

年号は、南宋・淳熙元宝からみられ、紹熙元宝、慶元通宝、嘉泰通宝、開禧通宝、嘉定通宝、大宋元宝、紹定通宝、端平元宝、嘉熙通宝、淳祐元宝、皇宋元宝、景定元宝、咸淳元宝、大定通宝まで続く。「柒」「月星」「元」～「十七」「酉」などが見られる。

方穿は、型のもの、あるいは、円形にあけたもの等がある。方穿の一部に小円孔をもつものもあるが、鑄摩れによって形を成すものもある。

外縁は、部分的に円形もしくは矩形に刻みつけたものがある。1点だけのもの、近接して複数のもの、対位置の物など種類は多い。また、多角形に加工したものなどもある。

小穴をあけたものが多く見られる。1点のものは、位置不定であるが明瞭な円孔が穿たれている。2点のものは円孔が不明瞭なものも多く、位置も不定である。3点のものは、下位銭文間に2点、才1文中に1点穿たれている。4点のものは、各銭文間のもの、各銭文中のもの2種類ある。3・4点のものは、円孔が明瞭に穿たれている。このような加工銭、さらには、私鑄銭については、同一銭名の精銭の中に入れておいた。また、不明140のうちには、私鑄銭が多く含まれ、無文銭等も存在するようである。



第 1 表 玉 井 古 錢 一 覽 表

番 号	名 称	書 体	初 鑄 年	枚 数	備 考
1	開元通宝	真篆	唐 621	1,112	紀地錢 南唐錢を含む
2	乾元重宝	真	唐 760	45	
3	光天元宝	真	前蜀 918	1	
4	乾德元宝	真	前蜀 919	4	
5	周通元宝	真	後周 955	2	
6	唐国通宝	真篆	南唐 959	7	
7	大唐通宝	真	南唐 960	1	
8	宋通元宝	真	北宋 960	45	
9	太平通宝	真	北宋 976	112	
10	淳化元宝	真行草	北宋 990	94	
11	至道元宝	行草真	北宋 995	217	
12	咸平元宝	真	北宋 998	237	
13	景德元宝	真	北宋 1004	360	
14	祥符元宝	真	北宋 1008	375	
15	祥符通宝	真	北宋 1008	184	
16	天禧通宝	真	北宋 1017	316	
17	天聖元宝	真篆	北宋 1023	718	
18	明道元宝	真篆	北宋 1032	80	
19	景祐元宝	真篆	北宋 1034	214	
20	皇宋通宝	真篆	北宋 1039	994	
21	至和元宝	真篆	北宋 1054	173	
22	至和通宝	真篆	北宋 1054	45	
23	嘉祐元宝	真篆	北宋 1056	147	
24	嘉祐通宝	真篆	北宋 1056	306	
25	治平元宝	真篆	北宋 1064	268	
26	治平通宝	真篆	北宋 1064	46	
27	熙寧元宝	真篆	北宋 1068	1,298	
28	熙寧重宝	真	北宋 1068	2	
29	元豐通宝	行篆隸	北宋 1078	1,490	
30	元祐通宝	行篆	北宋 1086	1,242	
31	紹聖元宝	行篆	北宋 1094	551	

番 号	名 称	書 体	初 鑄 年	枚 数	備 考
32	元符通宝	行篆	北宋 1098	219	
33	聖宋元宝	行篆	北宋 1101	486	
34	大觀通宝	真	北宋 1107	129	
35	政和通宝	真篆	北宋 1111	470	
36	宣和通宝	真篆	北宋 1119	53	
37	建炎通宝	真篆	南宋 1127	6	
38	紐興元宝	真	南宋 1131	2	
39	淳熙元宝	真	南宋 1174	66	
40	紹熙元宝	真	南宋 1190	20	
41	慶元通宝	真	南宋 1195	27	
42	嘉泰通宝	真	南宋 1201	12	
43	開禧通宝	真	南宋 1205	10	
44	嘉定通宝	真	南宋 1208	41	
45	大宋元宝	真	南宋 1225	5	
46	紐定通宝	真	南宋 1228	18	
47	端平元宝	真	南宋 1234	2	
48	嘉熙通宝	真	南宋 1234	4	
49	淳祐元宝	真	南宋 1241	14	
50	皇宋元宝	真	南宋 1253	10	
51	開慶通宝	真	南宋 1259	2	
52	景定元宝	真	南宋 1260	16	
53	咸淳元宝	真	南宋 1265	22	
54	正隆元宝	真	金 1158	4	
55	六定通宝	真	金 1178	12	
56	至大通宝	真	元 1310	4	
57	天福鎮宝	真	安南 984	1	
58	大中通宝	真	明 1361	8	
59	洪武通宝	真	明 1368	868	
60	永樂通宝	真	明 1408	2,082	
61	宣德通宝	真	明 1433	63	
62	朝鮮通宝	真	朝鮮 1423	61	
63	不明(鑄錢)			140	大多数が無名錢
	合 計			16,184	

	唐	五代十国	北 宋	南 宋	金	元	明	安 南	朝 鮮	不 明
数 量	1,159	15	11,492	277	16	4	3,021	1	61	140
比 率	7.14	0.09	71.01	1.72	0.09	0.02	18.67	0.01	0.38	0.87

## 5. 緡

比較的良好に残存していた緡の残欠は、第2表に示したとおりである。完全なものではなく、26～36枚が一単位になっていた。おそらく100枚前後が一緡になっていたと思われる。これによると、各銭の配置には一定の意識ははたらいっていない。すなわち、時代、銭種に対して、何ら関係なく配置しているのである。さらに、私鑄銭、極端に軽くなったもの、加工銭等、鏹銭として扱われる銭種についても特定の意識ははたらいっていない。このことは、埋蔵した時代に当地では未だ、撰銭の風潮が浸透しておらず、それが埋蔵銭種に反映していたと示唆する。あるいは又、全体の風潮ではなく埋蔵銭に対してのみ埋蔵した時代の経済的要素が反映されないことがあるのかもしれない。

第 2 表 緡 構 成 一 覧 表

	No.1 緡中央	No.2 緡中央	No.3 緡 端	No.4 緡 端	No.5 緡中央	No.6 緡 端	No.7 緡中央	No.8 緡中央
1	永楽通宝	紹聖元宝(篆)	永楽通宝	永楽通宝	開元通宝(鏹)	洪武通宝	紹熙元宝	聖宋元宝(篆)
2	元豊通宝(篆)	皇宋通宝(篆)	開元通宝	紹聖元宝	咸平元宝	紹聖元宝	紹聖元宝	元豊通宝(行)
3	永楽通宝	大観通宝	嘉祐元宝	開元通宝(私)	元祐通宝	至和元宝(篆)	紹聖元宝	開元通宝
4	咸平元宝	至和元宝(篆)	元豊通宝(篆)	大観通宝	開元通宝	景祐元宝(篆)	治平元宝(篆)	皇宋通宝(篆)
5	元祐通宝	皇宋通宝	元符通宝	治平元宝	開元通宝	開元通宝	開元通宝(鏹)	開元通宝
6	元豊通宝(篆)	軋元重宝	紹聖元宝(篆)	皇宋通宝	景德元宝	至道元宝(行)	軋徳元宝	宣徳通宝
7	皇宋通宝(篆)	元符通宝	洪武通宝	天聖元宝	元豊通宝(篆)	聖宋元宝	軋元重宝	永楽通宝
8	開元通宝(鏹)	熙寧元宝(篆)	至和通宝(篆)	元豊通宝	天聖元宝	皇宋通宝(篆)	皇宋通宝	軋元重宝
9	政和通宝	永楽通宝	祥符元宝	皇宋通宝	皇宋通宝(篆)	天聖元宝(篆)	天聖元宝	紹聖元宝
10	明道元宝(篆)	洪武通宝	開元通宝	景德元宝	景祐元宝	嘉祐通宝	聖宋元宝(鏹)	聖宋元宝
11	洪武通宝	祥符元宝	元祐通宝(篆)	永楽通宝	洪武通宝	景祐通宝(私鑄)	宣徳通宝	元豊通宝(行)
12	元豊通宝	至道元宝(行)	祥符元宝	永楽通宝	元豊通宝	永楽通宝	洪武通宝	永楽通宝
13	元祐通宝	元豊通宝(鏹)	元祐通宝(篆)	熙寧元宝	景德元宝	開元通宝	洪武通宝	熙寧元宝
14	元祐通宝(篆)	紹聖通宝(篆)	嘉祐元宝(篆)	熙寧元宝	慶元通宝	永楽通宝	景德元宝	洪武通宝
15	皇宋通宝	永楽通宝	宣和通宝(篆)	永楽通宝	永楽通宝	政和通宝(篆)	咸平元宝	天禧通宝
16	皇宋通宝(篆)	嘉祐通宝(篆)	嘉祐通宝(篆)	元豊通宝(篆)	元豊通宝	治平元宝	皇宋通宝	永楽通宝

	No.1 綱中央	No.2 綱中央	No.3 綱 端	No.4 綱 端	No.5 綱中央	No.6 綱 端	No.7 綱中央	No.8 綱中央
17	景祐元宝(篆)	開元通寶	熙寧元宝	皇宋通寶(篆)	政和通寶(篆)	開元通寶	元祐通寶	皇宋通寶
18	嘉祐元宝(篆)	元祐通寶	嘉祐元宝(篆)	元祐通寶	熙寧元宝	元符通寶(篆)	聖宋元宝(隸) 大平通寶	
19	永樂通寶	無文錢	咸平元宝	皇宋通寶	永樂通寶	政和通寶(篆)	熙寧元宝	聖宋元宝
20	熙寧元宝(隸) 開元通寶		永樂通寶	元豐通寶	政和通寶	元祐通寶(隸) 熙寧元宝(篆)		洪武通寶
21	天聖元宝	元祐通寶	熙寧元宝	元祐通寶	景定元宝	祥符元宝	永樂通寶	聖宋元宝(篆)
22	紹聖元宝	元豐通寶(篆)	皇宋通寶(篆)	熙寧元宝	皇宋通寶	元豐通寶(篆)	景德元宝	皇宋通寶
23	熙寧元宝(鑄)	咸平元宝	皇宋通寶(篆)	熙寧元宝	紹聖元宝(篆)	宣德通寶	嘉祐通寶(篆)	永樂通寶
24	景德元宝	天聖元宝	治平元宝(篆)	皇宋通寶	元豐通寶(篆)	永樂通寶	皇宋通寶(隸) 元豐通寶(行)	
25	聖宋元宝	嘉祐通寶(篆)	景祐元宝	開元通寶	淳化元宝(草)	宋通元宝	景祐元宝(鑄)	聖宋元宝(篆)
26	永樂通寶	永樂通寶		景德元宝	景祐元宝(篆)	皇宋通寶(篆)	天禧通寶(鑄)	慶元通寶
27	淳化元宝(行)	天聖元宝			元豐通寶(篆)	洪武通寶	明道元宝(篆)	
28	開元通寶(私)	嘉祐元宝(篆)			元祐通寶	嘉祐元宝(篆)	天禧通寶	
29	永樂通寶	元通通寶(隸) 元符通寶			元豐通寶(隸) 至和元宝	聖宋元宝	永樂通寶	
30	元豐通寶(篆)				元祐通寶	紹聖元宝(篆)	元祐通寶(篆)	
31	元祐通寶	熙寧元宝(篆)			元祐通寶	元豐通寶(隸) 元祐通寶(篆)		
32	永樂通寶	開元通寶(私)			紹聖元宝(篆)	開元通寶		
33	紹聖元宝	元豐通寶(隸) 天聖元宝				開元通寶(私)		
34						永樂通寶		
35	皇宋通寶(私)					開元通寶(鑄)		
36						紹聖元宝(篆)		

	No.9 綱中央	No.10 綱中央	No.11 綱中央	No.12 綱中央	No.13 綱中央
1	洪武通寶	政和通寶	永樂通寶	景德元宝	元祐通寶
2	元豐通寶(行)	皇宋通寶	天聖元宝	元祐通寶	皇宋通寶(篆)
3	永樂通寶	開元通寶	熙寧元宝	熙寧元宝(篆)	景德元宝
4	紹聖元宝	開元通寶	天禧通寶	元祐通寶	皇宋通寶
5	永樂通寶	永樂通寶	永樂通寶	元祐通寶(篆)	洪武通寶
6	皇宋通寶(篆)	開元通寶	宣和通寶	政和通寶(私)	祥符元宝
7	元豐通寶(篆)	元祐通寶	洪武通寶	淳化元宝(行)	永樂通寶
8	皇宋通寶(篆)	至道元宝(草)	紹聖元宝(私)	熙寧元宝	元豐通寶(行)
9	天聖元宝	景祐元宝	天禧通寶	開元通寶	聖宋元宝
10	永樂通寶	景祐元宝(篆)	政和通寶	開元通寶	天禧通寶
11	軋元重寶	元祐通寶	熙寧元宝(篆)	永樂通寶(鑄)	祥符元宝
12	聖宋元宝	朝鮮通寶	開元通寶	永樂通寶	淳化元宝
13	元祐通寶	永樂通寶	至和元宝(篆)	皇宋通寶	熙寧元宝(篆)

	No.9 緡中央	No.10 緡中央	No.11 緡中央	No.12 緡中央	No.13 緡中央
14	皇宋通宝(篆)	熙寧元宝	咸平元宝	祥符通宝	皇宋通宝(篆)
15	皇宋通宝(篆)	咸平元宝	皇宋通宝	天聖元宝(篆)	嘉祐通宝
16	祥符元宝	太平通宝	永樂通宝	元豐通宝(行)	熙寧元宝
17	皇宋通宝	嘉祐元宝(篆)	熙寧元宝(篆)	皇宋通宝(篆)	祥符元宝
18	元豐通宝(行)	皇宋通宝(篆)	永樂通宝	永樂通宝	政和通宝
19	永樂通宝	治平通宝(篆)	正隆元宝	元豐通宝(行)	至和元宝(篆)
20	元祐通宝(篆)	永樂通宝	元祐通宝	政和通宝	皇宋通宝
21	元祐通宝	永樂通宝	熙寧元宝(篆)	嘉祐通宝(篆)	皇宋通宝(篆)
22	政和通宝(篆)	元祐通宝	皇宋通宝(篆)	淳祐元宝	正隆元宝
23	開元通宝	熙寧元宝	永樂通宝	宣德通宝	元祐通宝(篆)
24	景祐元宝	軋元重宝	永樂通宝	熙寧元宝(篆)	永樂通宝
25	永樂通宝	軋元重宝	元祐通宝	永樂通宝	紹聖元宝(篆)
26	元符通宝(篆)	祥符元宝	元祐通宝(篆)	至道元宝	洪武通宝
27	大觀通宝	洪武通宝	元祐通宝(篆)	嘉祐元宝	天聖元宝(篆)
28	至和元宝		紹聖元宝		

無印……真書體

(草)……草書體

(行)……行書體

(篆)……篆書體

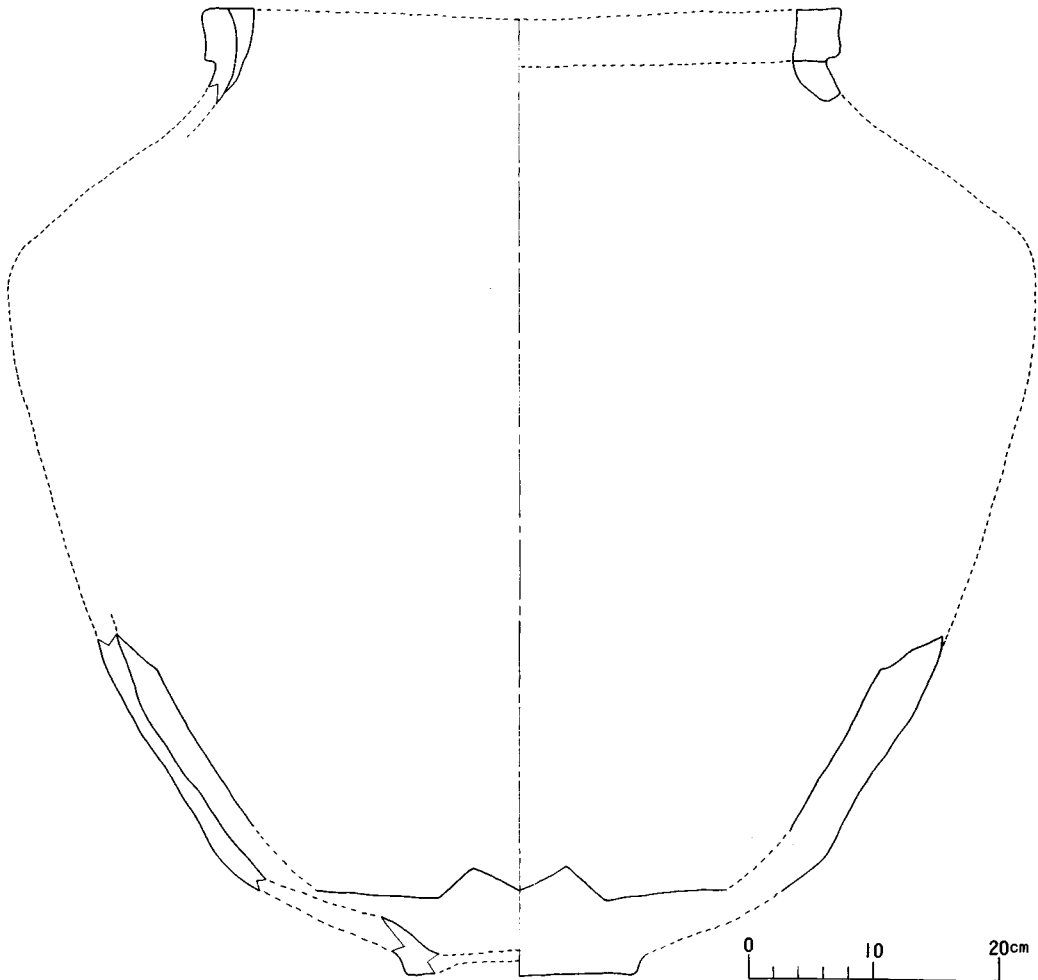
(私)……私鑄錢

(鏹)……鏹錢

## 6. 畜銭容器

底部から胴部下位にかけての $\frac{1}{2}$ 、および、口縁部の一部が残存する。推定口径52cm、堆定高78cm、底径19.2cmを計り、若干肩の張った大甕である。口縁幅は広く、4cmを計り、N字形を呈する。底部は上げ底となっている。外面は、艶の無い若干黒づんだ小豆色を呈し、上位には自然釉が斑点状にみられる。内面は、白味を滞びた小豆色を呈し、絹になった古銭の緑錆が縦横にみられる。

これらの特色は、赤羽一郎氏の編年によると、常滑第Ⅳ期の様相を示している。しかし、口縁径は大きくなり、第Ⅴ期的な様相も滞びている。このことから、大甕の時期は、15世紀半とすることができよう。



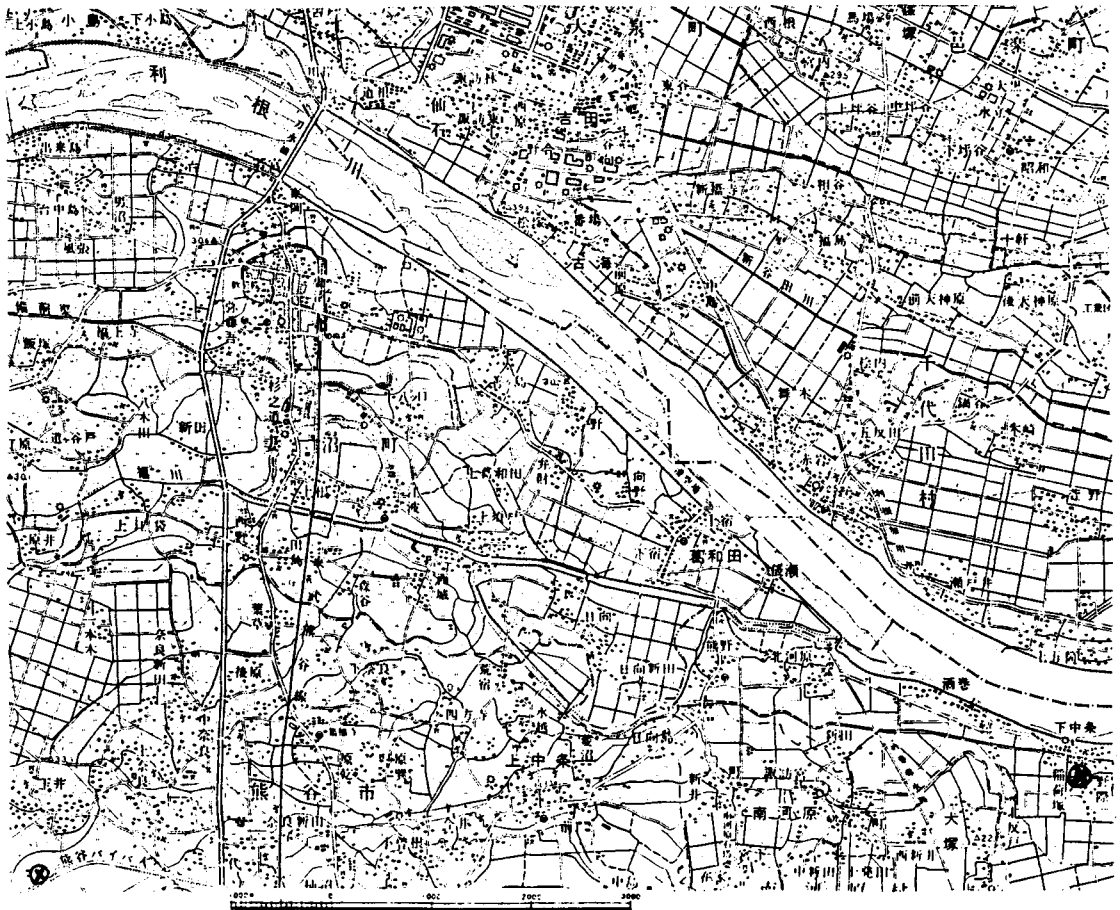
3. 畜銭容器実測図

## 7. まとめ

熊谷市玉井出土古銭は、確実に銭種名の判明したものが、16,044枚で、擦り減ったり、錆ついたりして判読不能なもの、あるいは、無文銭等を加えると、総数16,184枚におよぶ。実際の埋蔵量は、発見時の状況あるいは、容器であった大甕の残存量と古銭自体の残存量の量的関係、さらに、大甕肩部破片の内側に付着した緇の状況を呈する緑錆の存在等、これらを総合すると、30,000枚前後におよんだらうと思われる。

最古銭種は、唐・開元通宝、最新は、明・宣徳通宝である。北宋銭が主体であり、全体の71%を占める。明銭がこれに次ぎ、18.67%ある。単独銭種では、明・永楽通宝が最も多く、2,082枚ある。次いで、北宋・皇宋通宝1,615枚、北宋・元豊通宝1,490枚、北宋・熙寧元宝1,298枚、北宋・元祐通宝1,242枚、唐・開元通宝1,112枚の5銭種が1,000枚を超える。

緇は完全なものが無く、全体を計り知ることは不可能であるが、緇の構成には何の配慮もされていない点は残存したものの中で確認されている。また緇紐は、イネ科植物の茎部が使用されていた。



4. 行田市例および本例位置図

熊谷市の隣接市である行田市では、昭和38年、9,724枚の古銭が出土している。出土地点である行田市下中条は、本例と直線距離で約10.5kmしか離れておらず、非常に接近している。行田例と本例を比較することによって本例の性格付けがある程度なされよう。

第3表によると、行田例は58銭種であり、本例よりわずかに少ないが、大多数は共通した銭種をもつ。どちらか一方にのみみられるものは、咸雍通宝が行田例、光天元宝、大唐通宝、端平元宝、開慶通宝、天福鎮宝が本例のみであり、いずれも数量が極少ない銭種である。共通する56銭種について銭種別数量比率、時代別数量比率をみると、ほとんど同一であることがわかる。しかも最古銭種が元通元宝、最新銭種が宣徳通宝である点は全く同一である。

このように隣接した地域で、ほとんど比率・内容のちがわない一括所有の埋蔵金が存在したことは、当地域における貨幣の流通・保有構造に何らかの規範があったことをうかがわせるものである。

また、最も新しい銭種が同一であることから、両者の埋蔵時期もほぼ同時期であるといえる。その年代は、恐らく15世紀末としてさしつかえあるまい。15世紀の終末は、当地において、忍城を中心とした攻防が盛んにみられる時期であり、想像をたくましくするならば、埋蔵の原因も、当地域一帯に関わる同一事象に起因している可能性もまた有り得るのではなかろうか。しかし本例が強固な大甕を使用し、しかも、青石で蓋をしていた可能性のあるのに対し、行田例の容器は木箱の類と想定されており、数量と共に両者の差は著しい。このことは、埋蔵原因を共有しながらも、性格の異なる2集団が存在したことを示す。

## 参考文献

赤羽一郎「常滑」『世界陶磁全集』小学館・昭和52年

岡田 稔 『銭の歴史』 昭和46年

小葉田淳 『日本貨幣流通史』 昭和18年

入田整三 『発掘銭に就ての考察』 考古学雑誌 20—12

奥平昌洪 『東亜銭志』 昭和13年

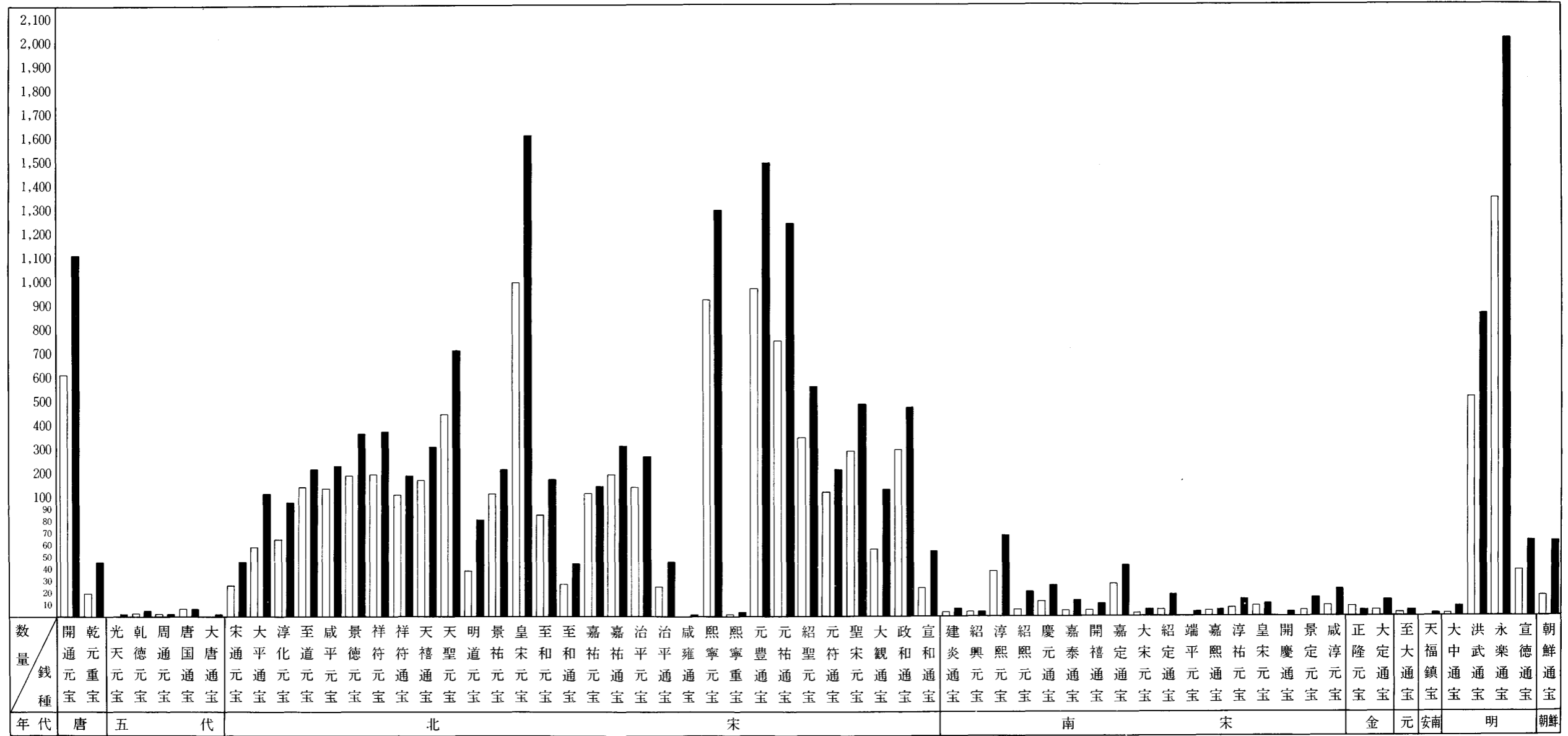
市立函館博物館 『函館志海苔古銭』 昭和48年

栗原文蔵 『行田市下中条出土古銭について』『埼玉県立さきたま資料館報』No.7 昭和51年

中橋掬泉 『古銭大鑑』 昭和34年



第3表 行田市下中条出土古銭及び玉井出土古銭



第 4 表 写真図版説明表

番 号	名 称	書体	特 色	番 号	名 称	書体	特 色
1-1	開元通宝	真	背文 月	10-1	淳化元宝	草	
1-2	開元通宝	真	背文 兗	10-2	淳化元宝	草	
1-3	開元通宝	真	背文 京	10-3	淳化元宝	草	
1-4	開元通宝	真	背文 藍	10-4	淳化元宝	行	
1-5	開元通宝	真	背文 洛	10-5	淳化元宝	行	1点穴
1-6	開元通宝	真	背文 昌	10-6	淳化元宝	真	上部切
1-7	開元通宝	真	背文 襄	10-7	淳化元宝	真	
1-8	開元通宝	真	背文 鄂	11-1	至道元宝	草	
1-9	開元通宝	真	背文 潭	11-2	至道元宝	草	
1-10	開元通宝	真	背文 洪	11-3	至道元宝	行	
1-11	開元通宝	真	方穿加工	11-4	至道元宝	行	
1-12	開元通宝	篆		11-5	至道元宝	真	
2-1	乾元重宝	真		11-6	至道元宝	真	
2-2	乾元重宝	真		11-7	至道元宝	真	輪擦り
2-3	乾元重宝	真	輪擦り	12-1	咸平元宝	真	
2-4	乾元重宝	真	3点穴	12-2	咸平元宝	真	
3-1	光天元宝	真		12-3	咸平元宝	真	1点穴
4-1	軋德元宝	真		12-4	咸平元宝	真	右下部切
4-2	軋德元宝	真	私鑄銭	12-5	咸平元宝	真	上下部切
5-1	周通元宝	真		12-6	咸平元宝	真	右上部切
5-2	周通元宝	真		12-7	咸平元宝	真	輪擦り
6-1	唐国通宝	真		13-1	景德元宝	真	
6-2	唐国通宝	篆		13-2	景德元宝	真	
6-3	唐国通宝	篆		13-3	景德元宝	真	1点穴
7-1	大唐通宝	真		13-4	景德元宝	真	上部切
8-1	宋通元宝	真		14-1	祥符元宝	真	
8-2	宋通元宝	真	輪擦り	14-2	祥符元宝	真	
8-3	宋通元宝	真	2点穴	14-3	祥符元宝	真	加工銭
8-4	宋通元宝	真	3点穴	14-4	祥符元宝	真	右部切
9-1	太平通宝	真		14-5	祥符元宝	真	四方穴
9-2	太平通宝	真	1点穴	15-1	祥符元宝	真	

番 号	名 称	書体	特 色	番 号	名 称	書体	特 色
15-2	祥符通宝	真		19-5	景祐元宝	真	左部切
15-3	祥符通宝	真		19-6	景祐元宝	篆	
15-4	祥符通宝	真	右上部切	19-7	景祐元宝	篆	輪擦り
15-5	祥符通宝	真	上部切	19-8	景祐元宝	篆	左下部穴
16-1	天禧通宝	真		19-9	景祐元宝	篆	下部切
16-2	天禧通宝	真		20-1	皇宋通宝	真	
16-3	天禧通宝	真	輪擦り	20-2	皇宋通宝	真	
16-4	天禧通宝	真	右上部切	20-3	皇宋通宝	真	
17-1	天聖元宝	真		20-4	皇宋通宝	真	
17-2	天聖元宝	真		20-5	皇宋通宝	真	方穿加工
17-3	天聖元宝	真	輪擦り	20-6	皇宋通宝	真	方穿加工、擦り機
17-4	天聖元宝	真	輪擦り	20-7	皇宋通宝	真	方穿加工
17-5	天聖元宝	真	方穿加工	20-8	皇宋通宝	篆	
17-6	天聖元宝	真		20-9	皇宋通宝	篆	
17-7	天聖元宝	真	左部2切	20-10	皇宋通宝	篆	
17-8	天聖元宝	篆		21-1	至和元宝	真	
17-9	天聖元宝	篆		21-2	至和元宝	真	
17-10	天聖元宝	篆	輪擦り	21-3	至和元宝	真	
17-11	天聖元宝	篆	方穿加工	21-4	至和元宝	真	右部切
17-12	天聖元宝	篆	左下部穴	21-5	至和元宝	真	方穿加工
17-13	天聖元宝	篆	右上部切	21-6	至和元宝	真	方穿加工
17-14	天聖元宝	篆	右上部切、方穿加工	21-7	至和元宝	篆	
18-1	明道元宝	真		22-1	至和通宝	真	
18-2	明道元宝	真		22-2	至和通宝	真	左中央穴
18-3	明道元宝	真	方穿加工	22-3	至和通宝	篆	
18-4	明道元宝	真	方穿加工	23-1	嘉祐元宝	真	
18-5	明道元宝	真	下部切	23-2	嘉祐元宝	真	
18-6	明道元宝	篆		23-3	嘉祐元宝	真	
18-7	明道元宝	篆	方穿加工	23-4	嘉祐元宝	真	方穿加工
19-1	景祐元宝	真		23-5	嘉祐元宝	真	
19-2	景祐元宝	真		23-6	嘉祐元宝	篆	
19-3	景祐元宝	真		23-7	嘉祐元宝	篆	方穿加工
19-4	景祐元宝	真	方穿加工	23-8	嘉祐元宝	篆	下部切

番 号	名 称	書体	特 色	番 号	名 称	書体	特 色
24-1	嘉祐通宝	真		27-7	熙寧元宝	真	左上部穴
24-2	嘉祐通宝	真	左上部切	27-8	熙寧元宝	真	上部切
24-3	嘉祐通宝	真	方穿加工	27-9	熙寧元宝	真	上部切右部切
24-4	嘉祐通宝	真	方穿加工	27-10	熙寧元宝	篆	
24-5	嘉祐通宝	真	方穿加工	27-11	熙寧元宝	篆	
24-6	嘉祐通宝	篆		27-12	熙寧元宝	篆	
24-7	嘉祐通宝	篆		27-13	熙寧元宝	篆	輪擦り
24-8	嘉祐通宝	篆	方穿加工	27-14	熙寧元宝	篆	
24-9	嘉祐通宝	篆	方穿加工	27-15	熙寧元宝	篆	方穿加工
24-10	嘉祐通宝	篆	方穿加工	28-1	熙寧重宝	真	写真なし
25-1	治平元宝	真		28-2	熙寧重宝	真	写真なし
25-2	治平元宝	真		29-1	元豊通宝	行	
25-3	治平元宝	真		29-2	元豊通宝	行	
25-4	治平元宝	真	方穿加工	29-3	元豊通宝	行	輪擦り
25-5	治平元宝	真	方穿加工	29-4	元豊通宝	篆	輪擦り下部切
25-6	治平元宝	真	左上部穴	29-5	元豊通宝	篆	輪擦り
25-7	治平元宝	真	裏鑄ずれ痕	29-6	元豊通宝	篆	方穿加工
25-8	治平元宝	篆		29-7	元豊通宝	篆	方穿加工
25-9	治平元宝	篆		29-8	元豊通宝	篆	右上下穴
25-10	治平元宝	篆	方穿加工	29-9	元豊通宝	隸	
25-11	治平元宝	篆	方穿加工	29-10	元豊通宝	隸	
26-1	治平通宝	真		29-11	元豊通宝	隸	
26-2	治平通宝	真	方穿加工	29-12	元豊通宝	隸	方穿加工
26-3	治平通宝	篆		29-13	元豊通宝	隸	方穿加工 輪擦り
26-4	治平通宝	篆	方穿加工	29-14	元豊通宝	隸	下部切上部穴
26-5	治平通宝	篆		29-15	元豊通宝	隸	左部切
26-6	治平通宝	篆	方穿加工	29-16	元豊通宝	隸	四方穴、鏹銭
27-1	熙寧元宝	真		29-17	元豊通宝	隸	1点穴、鏹銭
27-2	熙寧元宝	真		30-1	元祐通宝	行	
27-3	熙寧元宝	真		30-2	元祐通宝	行	
27-4	熙寧元宝	真		30-3	元祐通宝	行	
27-5	熙寧元宝	真	方穿加工	30-4	元祐通宝	行	方穿加工
27-6	熙寧元宝	真	方穿加工	30-5	元祐通宝	行	4点穴

番 号	名 称	書体	特 色	番 号	名 称	書体	特 色
30-6	元祐通宝	行	方穿加工	32-7	元符通宝	篆	
30-7	元祐通宝	行	方穿加工	32-8	元符通宝	篆	
30-8	元祐通宝	篆		32-9	元符通宝	篆	下部切 2点穴
30-9	元祐通宝	篆		32-10	元符通宝	篆	輪擦り
30-10	元祐通宝	篆	下部切	33-1	聖宋元宝	行	
30-11	元祐通宝	篆		33-2	聖宋元宝	行	
30-12	元祐通宝	篆	方穿加工	33-3	聖宋元宝	行	
30-13	元祐通宝	篆	3点穴	33-4	聖宋元宝	行	
30-14	元祐通宝	篆	下部穴	33-5	聖宋元宝	行	方穿加工
30-15	元祐通宝	篆	上部下部切	33-6	聖宋元宝	篆	
30-16	元祐通宝	篆	鏹錢	33-7	聖宋元宝	篆	
31-1	紹聖元宝	行		33-8	聖宋元宝	篆	方穿加工
31-2	紹聖元宝	行		33-9	聖宋元宝	篆	方穿加工
31-3	紹聖元宝	行	5点穴 鏹錢	33-10	聖宋元宝	篆	1点穴
31-4	紹聖元宝	行	方穿加工横長穴鏹錢	33-11	聖宋元宝	篆	下部切
31-5	紹聖元宝	行	方穿加工、輪擦り	33-12	聖宋元宝	篆	下部穴
31-6	紹聖元宝	行	方穿加工	34-1	大觀通宝	真	
31-7	紹聖元宝	行	上部切	34-2	大觀通宝	真	方穿加工
31-8	紹聖元宝		裏鑄ずれ右上部切	34-3	大觀通宝	真	下部切
31-9	紹聖元宝	篆		34-4	大觀通宝	真	四方穴
31-10	紹聖元宝	篆		35-1	政和通宝	真	
31-11	紹聖元宝	篆	下部切	35-2	政和通宝	真	方穿加工
31-12	紹聖元宝	篆		35-3	政和通宝	真	方穿加工
31-13	紹聖元宝	篆	方穿加工	35-4	政和通宝	篆	左部切
31-14	紹聖元宝	篆		35-5	政和通宝	篆	
31-15	紹聖元宝	篆		35-6	政和通宝	篆	方穿加工
31-16	紹聖元宝	篆	方穿加工、輪擦り	35-7	政和通宝	篆	方穿加工
32-1	元符通宝	行		35-8	政和通宝	篆	方穿加工
32-2	元符通宝	行		36-1	宣和通宝	真	
32-3	元符通宝	行		36-2	宣和通宝	篆	
32-4	元符通宝	行	輪擦り	36-3	宣和通宝	篆	
32-5	元符通宝	行	方穿加工	37-1	建炎通宝	真	
32-6	元符通宝	行	左1点穴	37-2	建炎通宝	真	

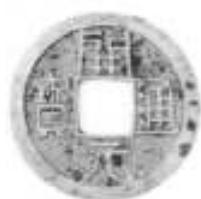
番 号	名 称	書体	特 色	番 号	名 称	書体	特 色
37-3	建炎通宝	真	3点穴	43-2	開禧通宝	真	背文(二)
37-4	建炎通宝	篆		43-3	開禧通宝	真	背文(三)
37-5	建炎通宝	篆		44-1	嘉定通宝	真	背文(元)
38-1	紹興元宝	真		44-2	嘉定通宝	真	背文(四)
38-2	紹興元宝	真		44-3	嘉定通宝	真	背文(六)
39-1	淳熙元宝	真	背文(月星)	44-4	嘉定通宝	真	背文(十一)
39-2	淳熙元宝	真	背文(朶)	44-5	嘉定通宝	真	背文(十二)
39-3	淳熙元宝	真	背文(九)	44-6	嘉定通宝	真	背文(十三)
39-4	淳熙元宝	真	背文(十)	44-7	嘉定通宝	真	背文(十四)
39-5	淳熙元宝	真	背文(十一)	44-8	嘉定通宝	真	背文(十七)
39-6	淳熙元宝	真	背文(十二)	45-1	大宋元宝	真	背文(元)
39-7	淳熙元宝	真	背文(十四)	45-2	大宋元宝	真	背文(二) 右部切輪擦り
39-8	淳熙元宝	真	背文(十五)	45-3	大宋元宝	真	背文(三)
39-9	淳熙元宝	真	背文(十六)	46-1	紹定通宝	真	背文(元)
40-1	紹熙元宝	真	背文(元) 半割錢	46-2	紹定通宝	真	背文(二) 1点穴
40-2	紹熙元宝	真	背文(二)	46-3	紹定通宝	真	背文(三)
40-3	紹熙元宝	真	背文(三)	46-4	紹定通宝	真	背文(四)
40-4	紹熙元宝	真	背文(四)	46-5	紹定通宝	真	背文(五) 右下部切
40-5	紹熙元宝	真	背文(五)	46-6	紹定通宝	真	背文(六)
41-1	慶元通宝	真	背文(一)	47-1	端平元宝	真	背文(元)
41-2	慶元通宝	真	背文(二)	48-1	嘉熙通宝	真	背文(二)
41-3	慶元通宝	真	背文(二) 方穿加工	48-2	嘉熙通宝	真	背文(三)
41-4	慶元通宝	真	背文(三)	48-3	嘉熙通宝	真	背文(四) 方穿加工
41-5	慶元通宝	真	背文(四)	49-1	淳祐元宝	真	私鑄錢
41-6	慶元通宝	真	背文(五)	49-2	淳祐元宝	真	背文(元)
41-7	慶元通宝	真	背文(六)	49-3	淳祐元宝	真	背文(二)
41-8	慶元通宝	真	背文(元)	49-4	淳祐元宝	真	背文(四)
42-1	嘉泰通宝	真	背文(二)	49-5	淳祐元宝	真	背文(五) 右上部穴
42-2	嘉泰通宝	真	背文(二) 輪擦り	49-6	淳祐元宝	真	背文(九)
42-3	嘉泰通宝	真	背文(三)	49-7	淳祐元宝	真	背文(十二)
42-4	嘉泰通宝	真	背文(四)	50-1	皇宋元宝	真	1点穴
42-5	嘉泰通宝	真	背文(五)	50-2	皇宋元宝	真	背文(三)
43-1	開禧通宝	真	背文(元) 方穿加工	50-3	皇宋元宝	真	背文(五)

番 号	名 称	書体	特 色	番 号	名 称	書体	特 色
50-4	皇宋元宝	真	背文(六)	56-2	至大通宝	真	
51-1	開慶通宝	真		57-1	天福鎮宝	真	背文(黎)
51-2	開慶通宝	真		58-1	大中通宝	真	
52-1	景定元宝	真	背文(元)	59-1	洪武通宝	真	
52-2	景定元宝	真	背文(二)	59-2	洪武通宝	真	
52-3	景定元宝	真	背文(三)	59-3	洪武通宝	真	
52-4	景定元宝	真	背文(四)	59-4	洪武通宝	真	背文(桂)
53-1	咸淳元宝	真		59-5	洪武通宝	真	背文(浙)
53-2	咸淳元宝	真		59-6	洪武通宝	真	背文(福)
53-3	咸淳元宝	真	背文(元)	59-7	洪武通宝	真	背文(北平)
53-4	咸淳元宝	真	背文(二)	59-8	洪武通宝	真	背文(一錢)
53-5	咸淳元宝	真	背文(五)	59-9	洪武通宝	真	背文(一錢)
54-1	正隆元宝	真		59-10	洪武通宝	真	
54-2	正隆元宝	真		60-1	永樂通宝	真	
54-3	正隆元宝	真	左上部切1点穴	61-1	宣德通宝	真	
55-1	大定通宝	真		62-1	朝鮮通宝	真	
55-2	大定通宝	真	背文(酉)	62-2	朝鮮通宝	真	
56-1	至大通宝	真					



1. 出土地点および蓄銭容器





1-1



1-2



1-3



1-4



1-5



1-6



1-7



1-8



1-9



1-10



2. 古钱番号 1-1-1-10



1-11



1-12



2-1



2-2



2-3



2-4



3-1



4-1



4-2



5-1



5-2



6-1



6-2



6-3



7-1



8-1



8-2



8-3



8-4



9-1

3. 古銭番号 1-11~9-1



9-2



10-1



10-2



10-3



10-4



10-5



10-6



10-7



11-1



11-2



11-3



11-4



11-5



11-6



11-7



12-1



12-2



12-3



12-4



12-5

4. 古銭番号9-2~12-5



12-6



12-7



13-1



13-2



13-3



13-4



14-1



14-2



14-3



14-4



14-5



15-1



15-2



15-3



15-4



15-5



16-1



16-2



16-3



16-4

5. 古銭番号 12-6 ~ 16-4



17-1



17-2



17-3



17-4



17-5



17-6



17-7



17-8



17-9



17-10



17-11



17-12



17-13



17-14



18-1



18-2



18-3



18-4



18-5



18-6

6. 古銭番号 17-1-18-6



18-7



19-1



19-2



19-3



19-4



19-5



19-6



19-7



19-8



19-9



20-1



20-2



20-3



20-4



20-5



20-6



20-7



20-8



20-9



20-10

7. 古銭番号 18-7 ~ 20-10



21-1



21-2



21-3



21-4



21-5



21-6



21-7



22-1



22-2



22-3



23-1



23-2



23-3



23-4



23-5



23-6



23-7



23-8



24-1



24-2

8. 古錢番号 21-1 ~ 24-2



24-3



24-4



24-5



24-6



24-7



24-8



24-9



24-10



25-1



25-2



25-3



25-4



25-5



25-6



25-7



25-8



25-9



25-10



25-11

9. 古钱番号 24-3 ~ 25-11





26-1



26-2



26-3



26-4



26-5



26-6



27-1



27-2



27-3



27-4



27-5



27-6



27-7



27-8



27-9



27-10



27-11



27-12



27-13



27-14

10. 古錢番号 26-1-27-14



27-15



29-1



29-2



29-3



29-4



29-5



29-6



29-7



29-8



29-9



29-10



29-11



29-12



29-13



29-14



29-15



29-16



29-17



30-1



30-2

11. 古銭番号 27-15~30-2



30-3



30-4



30-5



30-6



30-7



30-8



30-9



30-10



30-11



30-12



30-13



30-14



30-15



30-16



31-1



31-2



31-3



31-4



31-5



31-6

12. 古钱番号 30-3~31-6



31-7



31-8



31-9



31-10



31-11



31-12



31-13



31-14



31-15



31-16



32-1



32-2



32-3



32-4



33-5 2



32-6



32-7



32-8



32-9



32-10

13. 古銭番号 31-7 ~ 32-10



33-1



33-2



33-3



33-4



33-5



33-6



33-7



33-8



33-9



33-10



33-11



33-12



34-1



34-2



34-3



34-4



35-1



35-2



35-3



35-4

14. 古銭番号 33-1 ~ 35-4



35-5



35-6



35-7



35-8



36-1



36-2



36-3



37-1



37-2



37-3



37-4



37-5



38-1



38-2



39-1



39-2



15. 古銭番号 35-5-39-2



39-3



39-4



39-5



39-6



39-7



39-8



39-9



40-1



40-2



40-3



16. 古銭番号 39-3 ~ 40-3



40-4



40-5



41-1



41-2



41-3



41-4



41-5



41-6



41-7



41-8



17. 古銭番号 40-4~41-8





42-1



42-2



42-3



42-4



42-5



43-1



43-2



43-3



44-1



44-2



18. 古銭番号 42-1 ~ 44-2



44-3



44-4



44-5



44-6



44-7



44-8



45-1



45-2



45-3



46-1



19. 古錢番号 44-3 ~ 46-1



46-2



46-3



46-4



46-5



46-6



47-1



48-1



48-2



48-3



49-1



20. 古銭番号 46-2 ~ 49-1



49-2



49-3



49-4



49-5



49-6



49-7



50-1



50-2



50-3



50-4



21. 古銭番号 49-2 ~ 50-4



51-1



51-2



52-1



52-2



52-3



52-4



53-1



53-2



53-3



53-4



53-5



54-1



54-2

22. 古銭番号 51-1-54-2



54-3



55-1



55-2



56-1



56-2



57-1



58-1



59-1



59-2



59-3



59-4



59-5



59-6



59-7



23. 古銭番号 54-3 ~ 59-7



59-8



59-9



59-10



60-1



61-1

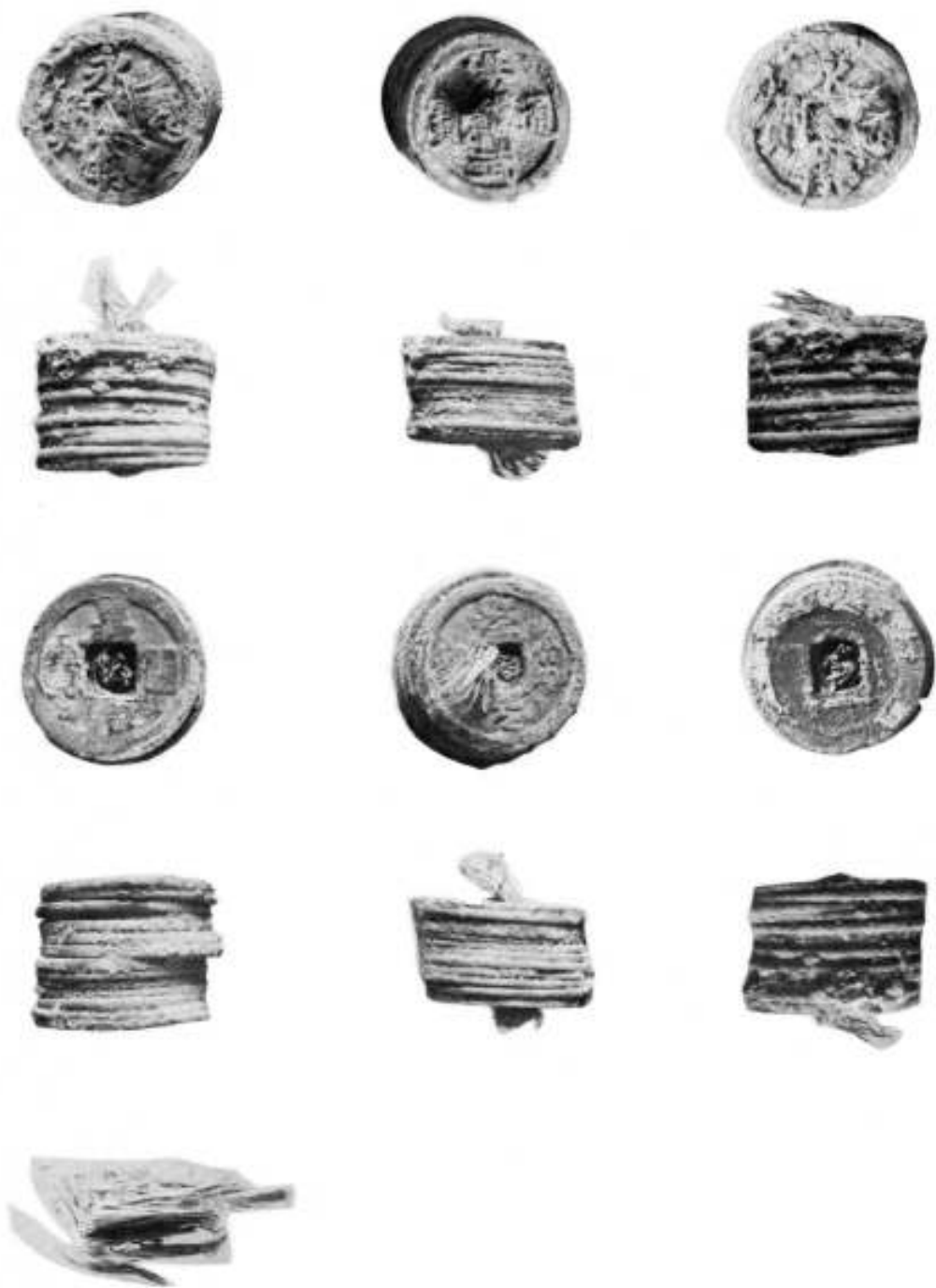


62-1



62-2

24. 古錢番号 59-8 ~ 62-2



25. 幣および紙紐